

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-176181 (P2003-176181A)

【公開日】平成 15 年 6 月 24 日 (2003.6.24)

【出願番号】特願 2002-224800 (P2002-224800)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 4 B 35/645

B 2 2 C 9/10

B 2 2 C 9/12

B 2 2 C 9/24

F 0 2 C 7/00

// B 2 2 F 3/10

【F I】

C 0 4 B 35/64 N

B 2 2 C 9/10 G

B 2 2 C 9/12 H

B 2 2 C 9/24 C

F 0 2 C 7/00 D

B 2 2 F 3/10 M

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 27 日 (2005.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

セラミック中子を焼成する方法であって、
上記中子をセッター上に設置する段階と、
耐火性粒子を含む少なくとも 1 つの弾性耐火袋を上記中子の上に設置し、上記セッター
に向かうよう上記中子に力を加える段階と、
上記中子を周囲温度よりも高温の焼成温度に加熱する段階とを含む方法。

【請求項 2】

複数の上記弾性耐火袋は、上記中子に対し異なる方向で、上記中子の上に設置される請求
項 1 記載の方法。

【請求項 3】

複数の上記弾性耐火袋は、上記中子の異なる位置で、上記中子の上に設置される請求項
1 記載の方法。

【請求項 4】

上記耐火性粒子は焼結されたセラミック粒子を含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

上記セッターはエアフォイル形状を有する表面を含み、
上記中子は、上記セッターの上記表面上に受容されるエアフォイル状の領域を有する請
求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

上記中子は、約 6 インチより大きい長さを有する請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

上記セラミック中子は未焼成の中子である請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】

上記セラミック中子は焼成された中子である請求項 1 記載の方法。